

# りんご生育情報(7月号)

令和6年7月11日発行

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-6127

HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



## 1. 果実肥大状況

7月9日現在の「ふじ」の果実肥大状況は、タテ径 124%、ヨコ径 120%と平年より大きくなっています。

表1 果実肥大調査結果 (mm)

	タテ径	ヨコ径
本年	56.3	58.6
平年値	45.4	48.7
平年比	124%	120%

※東和町の測定値。

## 2. 病害虫の発生状況

宮城県病害虫防除所が7月8日に発行した発生予報第5号では、褐斑病は「多い」、斑点落葉病、ハダニ類、キンモンホソガの発生量が「やや多い」と推測されています。また、アブラムシ類の発生量は「平年並み」となっています。

病害虫名	発生量	予報の根拠
斑点落葉病	やや多	巡回調査の結果、徒長枝葉及び新梢葉における発生地点率は平年より高く、広域で発生がみられた。登米管内においても発生がみられる。
褐斑病	多	巡回調査の結果、発生地点率及び発病葉率は平年より高かった。
ハダニ類	やや多	一部ほ場にて徒長枝やヒコバエにハダニ類の寄生を確認。
アブラムシ類	平年並	巡回調査の結果、発生地点率は平年より低く、寄生新梢率は平年よりやや低かった。
キンモンホソガ	やや多	巡回調査の結果、発生地点率は平年より高く、被害葉率は平年並みだった。

### ◆ハダニ類対策について

梅雨明け後は、気温が高いため短期間で高密度になりやすいです。防除のタイミングを誤ると一気に樹上密度があがり、園地全体に蔓延してしまうので、園地を良く観察しながらハダニ類が**1葉当たり3頭以上**寄生している場合には防除を実施するようにしましょう。

薬剤抵抗性の発達防止のため、IRACコードが同じ薬剤の連用を避け、計画的にローテーション散布を行いましょう。



### 3. 今後の管理について～夏季管理～



#### (1) 支柱立て、枝つり

##### ◆ねらい

- ①樹全体にむらなく日光の透射をはかり、葉の働きを盛んにし、果実品質の向上と翌年の花芽分化発達を良好にする
- ②散布薬剤の到達、付着を良くし、病虫害防除効果を高める
- ③枝の配置を矯正し、枝の裂傷、折損の防止、樹形の維持・確立を図る

##### ◆実施上のポイント

- ・骨格枝…しっかりした支柱を用いて、枝の状態を見ながら押し上げるように立てる。
- ・側枝…マイカ線などの縄で吊り上げる。樹冠下の作業が容易になることから可能な限り枝吊りを実施する。
- ・樹形構成に十分注意し、上げるべき枝と下げるべき枝を区別して実施する。

#### (2) 下草管理

草生栽培園では草刈機による刈り取り、苗木養成畑などは人手による除草が望ましいですが、労力的に間に合わない場合や草刈機を使用できない場所では除草剤を利用しましょう。

##### ◆実施上のポイント

- ・一年生雑草、多年生雑草の発生状況に応じて薬剤を選択する
- ・雑草の密度が低い場合⇒散布量または投薬量の少ない方を選択  
雑草の密度が高い場合⇒散布量または投薬量の多い方を選択
- ・散布時期は雑草の草丈が **30cm 以下**の時期とし、種子の飛散を防ぐため雑草の開花前に散布する。また、薬害を出さないため樹体に直接かからないようにする。

表 2 主な除草剤の使用法（令和 6 年 7 月 1 日登録状況）

除草剤名	作物名	適用雑草	希釈倍数 使用量	使用方法	使用時期	使用回数	散布液量	作用
バスタ液剤	りんご	一年生雑草	300 ～ 500ml/10a	雑草茎葉 散布	収穫 21 日前まで (雑草生 育期)	3回以内	100 ～ 150L/10a	接触型
		多年生雑草	500 ～ 1000ml/10a				少量散布：30 ～40L/10a	
ザクサ液剤	りんご	一年生雑草	300 ～ 500ml/10a	雑草茎葉 散布	収穫 21 日前まで (雑草生 育期)	3回以内	100 ～ 150L/10a	接触型
		多年生雑草	500 ～ 1000ml/10a					
ラウンドアップマックスロード	果樹類 (かんきつを除く)	一年生雑草	200 ～ 500ml/10a	雑草茎葉 散布	収穫 7 日 前まで(雑 草生育期)	3回以内	通常散布：50 ～100L/10a	移行型
		多年生雑草	500 ～ 1000ml/10a				少量散布：25 ～50L/10a	
		スギナ	1500 ～ 2000ml/10a					

参考：「りんご生産指導要項 2024-2025」（公益財団法人青森県りんご協会）  
「みやぎの果樹指導指針」（宮城県）

#### 🍏 農薬危害防止運動実施中 🍏（6月1日～8月31日）

◆農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう！

